

通信教育指導室から、こんにちは。

教員として押さえておきたい英語学習の ≪ 基礎・基本 ≫ と ≪ 全体像 ≫ をこの1枚にまとめてみました。この表に目を通しただけでも、【英語の基本は am, are, is】であることがわかると思います。中でも、【現在】のつく文が一番大切で、しかも難しいのです。

BASIC GRAMMAR QUICK REFERENCE (基本文法早見表)

- ① be 動詞がすべての基本! ② 難しいのは**現在**の文だけ! ③ できるだけ多くの単語の意味を知ろう!

| 数 | 人称 | be 動詞 (現在) | | 一般動詞 (現在) | | | be 動詞 (過去) | 一般動詞 (過去) | | 助動詞 | 現在完了 (現在) | 受動態 (現在) | |
|----|----|------------|------------|---------------|--------------|------------|-------------|-----------|--------|------|-------------|-------------------|------------------|
| | | 主語 (○○は) | です | 運動等をする | 持つ | する | でした | 運動等をした | した | ～できる | 継続・完了・経験 | ～される | |
| 単数 | 1 | 私 は | I | am - . | play | have | do | was | played | did | can + 動詞の原形 | have + 過去分詞 | am + 過去分詞 |
| | 2 | あなたは | You | are - . | play | have | do | were | played | did | can + 動詞の原形 | have + 過去分詞 | are + 過去分詞 |
| | 3 | 彼 は | He | is - . | plays | has | does | was | played | did | can + 動詞の原形 | has + 過去分詞 | is + 過去分詞 |
| | 3 | 彼女は | She | is - . | plays | has | does | was | played | did | can + 動詞の原形 | has + 過去分詞 | is + 過去分詞 |
| | 3 | それは | It | is - . | plays | has | does | was | played | did | can + 動詞の原形 | has + 過去分詞 | is + 過去分詞 |
| 複数 | 1 | 私たちは | We | are - . | play | have | do | were | played | did | can + 動詞の原形 | have + 過去分詞 | are + 過去分詞 |
| | 2 | あなた方は | You | are - . | play | have | do | were | played | did | can + 動詞の原形 | have + 過去分詞 | are + 過去分詞 |
| | 3 | 彼らは | They | are - . | play | have | do | were | played | did | can + 動詞の原形 | have + 過去分詞 | are + 過去分詞 |
| | 3 | 彼女らは | They | are - . | play | have | do | were | played | did | can + 動詞の原形 | have + 過去分詞 | are + 過去分詞 |
| | 3 | それらは | They | are - . | play | have | do | were | played | did | can + 動詞の原形 | have + 過去分詞 | are + 過去分詞 |

◇ 現在の文では、【is】の【s】が、一般動詞にも移っていくよ。

この太枠の中は形が決まっているので、楽勝だね!

前ページの「基本文法早見表」の他に、次に紹介する「疑問文の作り方」を覚えておくと、ALTと英語で話すときのハードルが低くなります。また、教室でも自信をもって児童に対することができるようになります。

疑問文の作り方は、全部で三つのルール

中・高・大を通じて英語学習で習う **疑問文の作り方のルール** は、下の表に示した三つしかありません。

そのうち、小学校段階で教えるのは、(1)と(2)の二つです。三つのルールのうち、根幹をなす二つのルールを、小学校の段階で学習することになります。

(1) 文中に【 am, are, is / can 】(be動詞と助動詞)がある。

→ am, are, is / can を前に出す。

Are you ~? / Is he ~? / Can you ~?

(2) 文中に【 am, are, is / can 】(be動詞と助動詞)がない。

→ Do, Does, Did を文の先頭につける。

Do you ~? / Does he ~? / Did she ~?

(3) 現在完了 (have, has+過去分詞) の文の場合。

→ Have, Has を文の先頭に出す。

Have you played ~? / Has he made ~?

その文に【 am, are, is / can 】はあるのか?

上の表の(1)と(2)のルールのどちらを使うのかは、英文

の中に【 am, are, is / can 】が【 ある 】か【 ない 】かで判断します。

子どもたちから「疑問文をつくるときは、どうすればいいの」という質問があったときには、【 be動詞 】や【 助動詞 】という用語を使わず、

「【 am, are, is / can 】があれば、それを前に出せばいいんだよ。ないときは、Do おじさんや、Does おばさん、Did おじさんの助けを借りて、文の先頭にくっついてもらうといいよ」と

と教えてあげるとよいでしょう。

やりとりを豊かにするWH疑問文

5年生の教科書をみると、Unit 1で早くも、What subject do you like? というWH疑問文がでてきます。WhatやWhen、Where、Whoなどで始まるWH疑問文は、会話の話題を豊かに広げてくれる大切な潤滑油の働きをしてくれます。

このWH疑問文をつくるときは、自分のことを話のネタにして、

「私のようにWHな奴は、でかい顔(大文字)をして前にしゃしゃり出てくるんだよ」

と説明すると、理解が進みます。



普通文: You like PE. ※ PE = 体育
疑問文: Do you like PE?

WH疑問文: What subject do you like? どの教科が好き?